

おおいたラグビーヒストリー

～ OITA RUGBY HISTORY ～

テーマ「大分市営駄原球技場（現豊後企画駄原球技場）芝生化」

2020.5.16 Vol3

2010年（平成22年）は大分県ラグビーの聖地「駄原球技場」の芝生化工事が行われました。駄原球技場と言えば高校、大学、社会人と大分県出身ラグーマンなら一度はプレイしたことがあるグラウンド。土、土、土で雨が降れば頭からつま先まで泥塗れとなり試合後は冬場でも冷たい水道水で体を洗い流していたのを思い出します。メインスタンド側の中央と両サイドに水道があり蛇口を上向きにして使用していました。この芝生化の8年後（2018年）に駄原球技場はラグビーワールドカップのレガシーの一つとして更に進化しますがその話はまた後日、行いたいと思います。



2010年4月30日撮影



2011年4月8日撮影